



<掲載記事>

- 野菜研究所研究成果発表会（2/23）
- ニンクイモグサレセンチュウ防除マニュアル発行
- もち姫栽培マニュアル発行
- 早い雪解け

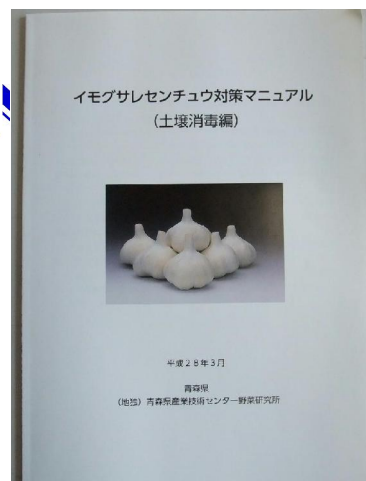
野菜研究所研究成果発表会開催

3月23日、平成27年度野菜研究所研究成果発表会が野菜研究所大会議室で72名の参加を得、開催されました。農林総合研究所のキクの課題を含め、ナガイモ、小麦、ダイコンの4つの成果が紹介されました。出席者の皆様からアンケートによる評価をしていただいた結果、5～6割の方からは、内容に対して高い評価をしていただきました。今後も、発表内容をより充実させ、多くの方に満足いただけるものにしていきたいと思っております。



ニンクイモグサレセンチュウ防除マニュアル発行

これまでもニンクイモグサレセンチュウに関する指導書が作成されてきました。このマニュアルでは新たな情報を土壌消毒を中心に青森県の指導者が現場の状況に応じてきめ細かく対応、指導を行うようにとりまとめました。このマニュアルを利用して、これ以上の被害拡大を防止するための適切な対策を確実に実施するのに役立てていただけたらと思っております。



小麦品種「もち姫」栽培マニュアル発行

小麦品種「もち姫」は平成23年から青森県産地品種銘柄として指定されています。「もち姫」を使ったすいとんはのどごしが良くなること、洋菓子ではしっとり感をもたらすといった特徴があります。本品種は雪腐病に弱いことから、長期積雪期間（根雪期間）から見た青森県の作付け適地を設定しました。また、収穫前に急激に子実の水分が減少するという特徴をふまえた出穂後の積算気温から見たコンバイン収穫適期が明らかとなりましたので、その結果を栽培マニュアルにとりまとめました。そのほかマニュアルの内容には、青森県立保健大学の協力のもと、加工品等も紹介しています。

もち小麦品種 「もち姫」 栽培等マニュアル



(地独) 青森県産業技術センター野菜研究所
(協力: 公立学校法人青森県立保健大学
もち小麦実用技術開発会誌)

雪解け早まる

2月14日、当研究所において、積雪が0となり、長期積雪期間は12月28日から2月13日までの49日となりました。これは、去年の52日より短く、平年より31日も短くなりました。小麦の作況試験も去年に次ぐ早さで、3月19日には幼穂形成期に達しており、これも平年より12日早まっています。ニンニクの珠芽利用の栽培試験では、追肥も18日から始まりました。



小麦作況ほの様子 (3月22日)



ニンニク作況ほの様子 (3月22日)



珠芽栽培試験の追肥 (3月18日)